

レイエスの今、
そして未来のために。



こんにちは。レイエスの阪本です。

この記事を読んでくれている皆さんは、きっとどこかでレイエスに接点を持っていた方々であるかと思います。私のことを知っている人もそうでない人も、もしかしたら恨んでいる人も（笑）いるかと思いますが、いまの自分自身の役割を全うするため、過去の自分を乗り越えるため、そして何よりもクラブの未来を切り拓くため、僭越ながら筆を執っています。

皆さんにとってのレイエスはどんな存在でしょうか。例えば過去に選手として所属してくれたメンバーであれば、“自分の中でのレイエス”は月日と共に形を変えていっていることも想像します。もしかしたら永遠に変わることのないシーンとして、人生の中のマイルストーンになっている方もいらっしゃるでしょう。もちろん、良い思い出もそうでない思い出も。

パートナー企業や個人スポンサーの皆様にとっては、我々との接点から新しい出会いや価値の創出、日常に彩りを加える存在となっていれば、そんなに嬉しいことはありません。

今年、
レイエスは
新しいビジョンを
掲げました。

Keyword
————
ルーツ

今年、レイエスは新しいビジョンを掲げました。キーワードは「ルーツ」です。調べてみると、ルーツには「植物の根を指す言葉であり、植物の成長や養分吸収に重要な役割を果たす部分である。また、ある事物や考え方の起源や基礎を表す言葉で、文化や歴史などの背景を理解する上で重要な要素である。」という意味が出てきます。私は個人的に「自分の人生に影響を与えた、後に思い返される経験や記憶。」と定義づけてみました。それらは各々に一つとは限らないですし、「現在」のコンディションで捉え方や意味合い、価値も変動すると思います。いずれにしても、レイエスでの経験、時間、思い出、出会いなどが、クラブに関わった人々の精神的な財産となっていくことが、クラブの目指す姿です。

思い出話を語る中年親父はダサイとはよく言われますが（“思い出話し出すなら今以下のことをね。今以上のことなんか聞いててかったるい。”というコブクロさんの曲に出てくる所ジョージさんの歌詞が好きです）、一周まわって、やっぱり人生にとって「思い出話」って大切なんじゃないかと考えるようになりました。家で、居酒屋で、友達に、こどもに、日常で語る思い出話は生活の彩りになっているはずですし、たとえ愚痴っぽくなったとしても、黒歴史であったとしても、次の日頑張ろうと思えば、人に語ることができれば、それは素晴らしい思い出話であると思います。そんな語れる、語りたくなるような思い出話をつくれるクラブになれば最高です。そういった意味では、みなさんに語られて初めて、我々の価値は生まれるとも言えます。



人間“最期”の時に何が残るのかを考えてみても、
「人生とは思い出作り」と言えるのかもしれませんが。

東急SレイエスFC
代表 阪本 洋平